

世界遺産アカデミー認定講師 File No.15

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓蒙活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当て、お話を伺います。第15回は世界遺産アカデミー賛助会員の星野弥生(ほしの・やよい)さんです。

——異なる世代の受講生たちから新しい刺激をいただいています。

現在、日本外国語専門学校で1セメスター完結の週1回の3級対策講座を担当しています。東京在住ですが、四国のお国言葉のままで講義をしています。公式テキストに沿った検定対策をベースに時事ネタを盛り込んでみたり、学生さん向けの授業なので、就職活動や就職後にどのように活用できるかもお話ししています。これまで担当していた単発の3級対策や2級対策ガイダンスでは年配の受講者が多く、1992年に日本が世界遺産条約を締結する以前の、世界遺産という言葉が浸透していなかった時代を知っていて、海外旅行から帰国後に実は世界遺産を訪れていたことに気づく方も多いのですが、今の学生は生まれた時から世界遺産があって当然として育ってきた世代なので、感覚の違いに驚かされることがあります。学生たちに「どの世界遺

産を最初に思い浮かべますか?」と質問してみると、公式テキストの表紙となっている影響もあるのか、よく名前が出るのは、エジプトのピラミッドやマチュ・ピチュ、タージ・マハルなどです。また、1年生ではまだ少ないですが、2年生になると世界遺産を実際に訪れている学生も増えますし、修学旅行でシドニー・オペラハウスや小笠原諸島を訪れた学生もいました。日本に18件もの世界遺産があることを知らなくて驚かれたり、「石見」のことを「いしみ」、「せっけん」と誤読したり、「厳島」を読めない生徒もたくさんいますが(苦笑)、3級対策講座の中には、既に3級を持っていて、2級を目指している学生もいて、賑やかなクラスですし、何名か外国生まれの学生もいます。以前、実験的な試みとして、生徒を5、6名ずつに分けて、グループワークを実施したこともあります。白川郷を題材に、世界遺産登録のメリットとデメリットについて考察してもらい、グループごとに発表してもらいました。1級やマイスターを目指す学生たちには良い刺激



ブルースやジャズが趣味の星野さんにとって、キューバ共和国の「ハバナ旧市街と要塞群」は、別格の世界遺産。一方で、故郷・四国の「お遍路さん」も応援されているそうです。

になったと思います。また、特に印象に残っている授業として、2級の1-Dayガイダンスがあります。検定実施の直前ででしたし、3級ではなく2級ということもあって、受講者の皆さんの気迫が凄まじかったですね。同様に、とある高校で

異文化理解講義のゲストスピーカーとして担当した時、講義後に提出されたレポートがマイスター試験の答案用紙のような完成度で驚きました。

——世界の素晴らしさを教えてくれたのは、ドラえもん!

幼少の頃から、外国への憧れが強くありました。幼稚園の頃、毎週日曜日の朝に放映していたテレビ番組『兼高かおる世界の旅』で、どうやら世の中には“外国”というものがあるらしいと知り、子どもながらに全世界を旅行したい!と決意しました。加えて、もうひとつ、今も大好きな『ドラえもん』からも強い影響を受け続けています。どこでもドアやタイムマシンであちこち出かけるシーンがたまらなく好きで、子どもの頃の私は、恐竜や古代世界がマンガの中だけの世界だと思っていました。ところが、ピラミッドや中世に建築されたお城は今も現実に存在していると知り、それらに興味を湧

いたことが、世界遺産に魅了されたきっかけです。フロリダ州の大学に留学していた学生時代、メキシコのユカタン半島にあるトゥルム遺跡を訪れました。この遺跡は世界遺産ではありませんが、海からの塩害を受けて老朽化が進んでいるにもかかわらず素晴らしい遺跡で、『ドラえもん』で見た世界が本当にあるんだと、とても感動しました。同じ年に、テオティワカン遺跡にも行きました。トゥルム遺跡より大規模で保存状態も良く、度肝を抜かれました。他にも様々な世界遺産を訪れましたが、テオティワカンが最も衝撃的な印象を受けました。ちなみに、2000年に映画公開された『ドラえもん』のび太の太陽王伝説』では、チチェンイツァやウシュマル遺跡といったマヤ文明の世界が描かれているので、マヤ文明の世界遺産について講義する際は、参考資料として紹介しています。

認定講師の役割は、世界遺産を次世代へ伝え、繋いでいくことです。小学生を対象とした講座や、小学生とその保護者の方も一緒に参加できる講座ができると嬉しいです。世界遺産検定4級が今

夏から新しく実施されますし、これからは色々なアプローチができそうですね。各国料理のレストランや、音楽や映画イベント、アートギャラリーとタイアップした、世界遺産のミニレクチャーのようなものも期待しています。以前、WHAの目黒主任研究員がアジアングループで世界遺産の船上レクチャーを実施されていて、羨ましいと思いました。次は私の番だからねと勝手に決めていきます(笑)。

世界遺産検定を知った2006年から、「世界遺産検定マイスターになって、認定講師になろう」と決意。検定学習に途中挫折したりして、色々と紆余曲折もありましたが、なるうと思えばなれるのだと実感しています。就職活動で困難に直面している学生たちにも、辛い時には、未来の君たちがタイムマシンでやって来て、耳元でささやいてくれている、と伝えたいです。「何にでもなれるよ」って。